令和３年度指定管理鳥獣捕獲等事業の捕獲結果（ニホンジカ）

千葉県ではニホンジカ（以下、シカ）の分布が拡大傾向にあり、それに伴い捕獲数も年々増加しているものの、依然として農作物被害は深刻な状況にある。このため、第二種特定鳥獣管理計画を策定し、平成 27 年度から指定管理鳥獣捕獲等事業（以下、指定管理事業）を実施している。

令和 3 年度においてもシカの指定管理事業実施計画を策定し、生息域の拡大防止を目的に、生息域の外縁部である市原・大多喜地域において捕獲を実施した。

１．捕獲の実施状況

捕獲の実施区域は、市原市の保護管理ユニット（以下、ユニット）I2、I3、I4、I5 及び大多喜町のユニット O9、O12、O13 として、集中的に捕獲を実施した（図 1）。

- 委 託 先：（一社）千葉県猟友会
- 委託期間：令和 3 年 6 月 14 日～令和 4 年 1 月 14 日
- 実施区域：市原市（I2、I3、I4、I5）、大多喜町（O9、O12、O13）
- わな設置期間：令和 3 年 8 月 1 日～11 月 30 日（市原市）
  令和 3 年 8 月 22 日～12 月 5 日（大多喜町）
- 目標捕獲数及び捕獲方法：100 頭（くくりわな）

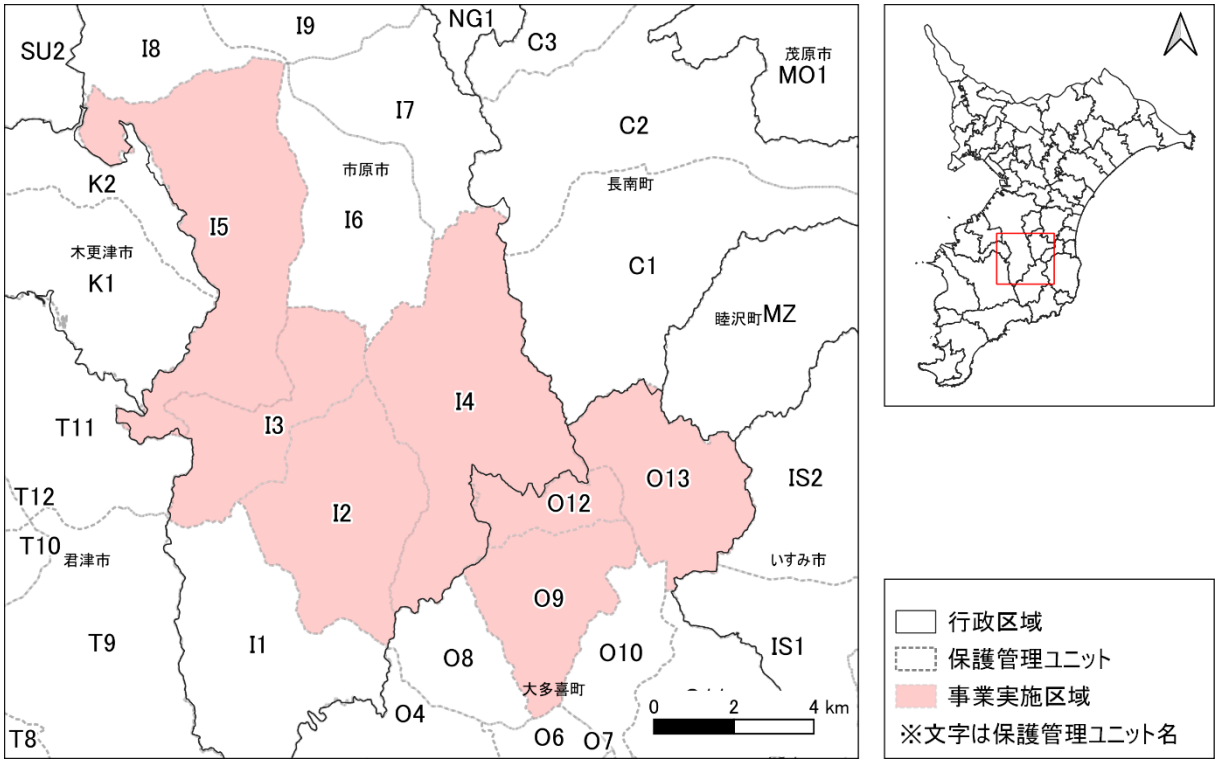

図 1　シカの指定管理事業実施区域（市原・大多喜地域）

２．捕獲の実施結果

２－１．事業における平成２７年度以降の捕獲結果

表 1 に事業（平成 27 年度以降）における捕獲数の内訳を、表 2 に年度ごとの捕獲作業及び捕獲状況を、表 3 に令和 3 年度の月ごとの捕獲作業及び捕獲状況を示す。

- 令和 3 年度は目標 100 頭に対し、107 頭を捕獲した。そのうち、成獣オスが過半数を占めた。
- 令和 3 年度は、令和 2 年度に比べわな日、捕獲数、CPUE ともにやや減少したが、いずれも過去 2 番目に高い値を示した。
- 令和 3 年度の成獣メス割合は 34.6%と、令和 2 年度と概ね同様であった。
- 月ごとの比較では、CPUE は 10 月まで上昇傾向を示し、その後は急激に減少した。成獣メスの割合は捕獲開始の 8 月が最も高く、その後は減少が続いた。幼獣割合も同様であった。

表 1　指定管理事業における捕獲数の年度別内訳（市原・大多喜地域）

		H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
成獣	メス	1 (25.0)	16 (34.0)	9 (52.9)	17 (27.9)	15 (19.0)	50 (35.7)	37 (34.6)
	オス	3 (75.0)	22 (46.8)	8 (47.1)	36 (59.0)	47 (59.5)	70 (50.0)	55 (51.4)
幼獣	メス	0 (0.0)	9 (19.1)	0 (0.0)	6 (9.8)	14 (17.7)	17 (12.1)	8 (7.5)
	オス	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (3.3)	3 (3.8)	3 (2.1)	7 (6.5)
合計		4	47	17	61	79	140	107

※後足長が 30cm 以上の個体を成獣とした

※括弧内は各年度の全捕獲数に占める割合

表 2　年度別のわな捕獲の作業及び捕獲状況

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
わな数	65	120	120	160	160	200	210
わな日	1,936	10,878	10,278	16,646	16,078	25,046	21,582
空はじき	0	102	38	180	148	134	459
空はじき率	0.00	9.38	3.70	10.81	9.21	5.35	21.27
目標捕獲数	－	20	24	55	60	120	100
捕獲数	4	47	17	61	79	140	107
成獣メス割合（%）	25.0	34.0	52.9	27.9	19.0	35.7	34.6
幼獣割合（%）	0.0	19.1	0.0	13.1	21.5	14.3	14.0
CPUE	2.07	4.32	1.65	3.66	4.91	5.59	4.96

※わな日はわな数×わな稼働日数により算出
※CPUE は（捕獲数/わな日）×1000、空はじき率は（空はじき/わな日）×1000
※平成 27 年度は目標捕獲数の設定なし
※平成 27-28 年度は主に冬期、平成 29 年度以降は夏期から秋期にかけて捕獲を実施

表 3　令和 3 年度の月ごとのわな捕獲の作業及び捕獲状況

	8月	9月	10月	11月	12月	合計
わな日	3303	6,190	6,510	5,179	400	21,582
捕獲数	16	32	48	11	0	107
成獣メス割合（%）	56.3	34.4	31.3	18.2	0.0	34.6
幼獣割合（%）	31.3	21.9	4.2	9.1	0.0	14.0
CPUE	4.84	5.17	7.37	2.12	0.00	4.96

２－２．令和 3 年度事業の捕獲結果

表 4、図 2 にユニットごとの捕獲結果を示す。

- 市原市ではユニット I2 及び I3 でわな日が多かった。大多喜町の捕獲は O9 に集中し、O12 及び O13 では捕獲が実施されていない。
- 捕獲数が最も多かったユニットは O9 で 33 頭であり、次いで I2 の 29 頭であった。
- 成獣メスの割合は、O9 で最も高く、ユニット内捕獲の過半数を占めた。
- 幼獣の割合は、I3 で高く約 40%であったが、その他のユニットは約 20%未満であった。また、大多喜町では幼獣の捕獲はなかった。

また、図 3 に 1km メッシュごとの捕獲結果を示す。

- メッシュごとのわな日は、大多喜町では全 4 メッシュが 1000 日を超え、集中した捕獲が実施された。市原市では同様のメッシュは一部であるが、比較的広域的にわなが設置された。
- 捕獲数は、大多喜町では南側、市原市では西側に多い傾向であった。
- 成獣メスの割合は、大多喜町で多かった。市原市でも一部のメッシュで高い割合を示した。
- 幼獣割合は全域的に低く、過半数を超すメッシュは認められなかった。

表 4　令和 3 年度のユニットごとの捕獲結果

ユニット	市町村	わな日	捕獲数	成獣メス割合	幼獣割合
I2	市原市	4,880	29	27.6	10.3
I3	市原市	4,818	17	17.6	41.2
I4	市原市	349	5	40.0	0.0
I5	市原市	3,135	23	26.1	21.7
O9	大多喜町	8,400	33	54.5	0.0
O12	大多喜町	0	－	－	－
O13	大多喜町	0	－	－	－

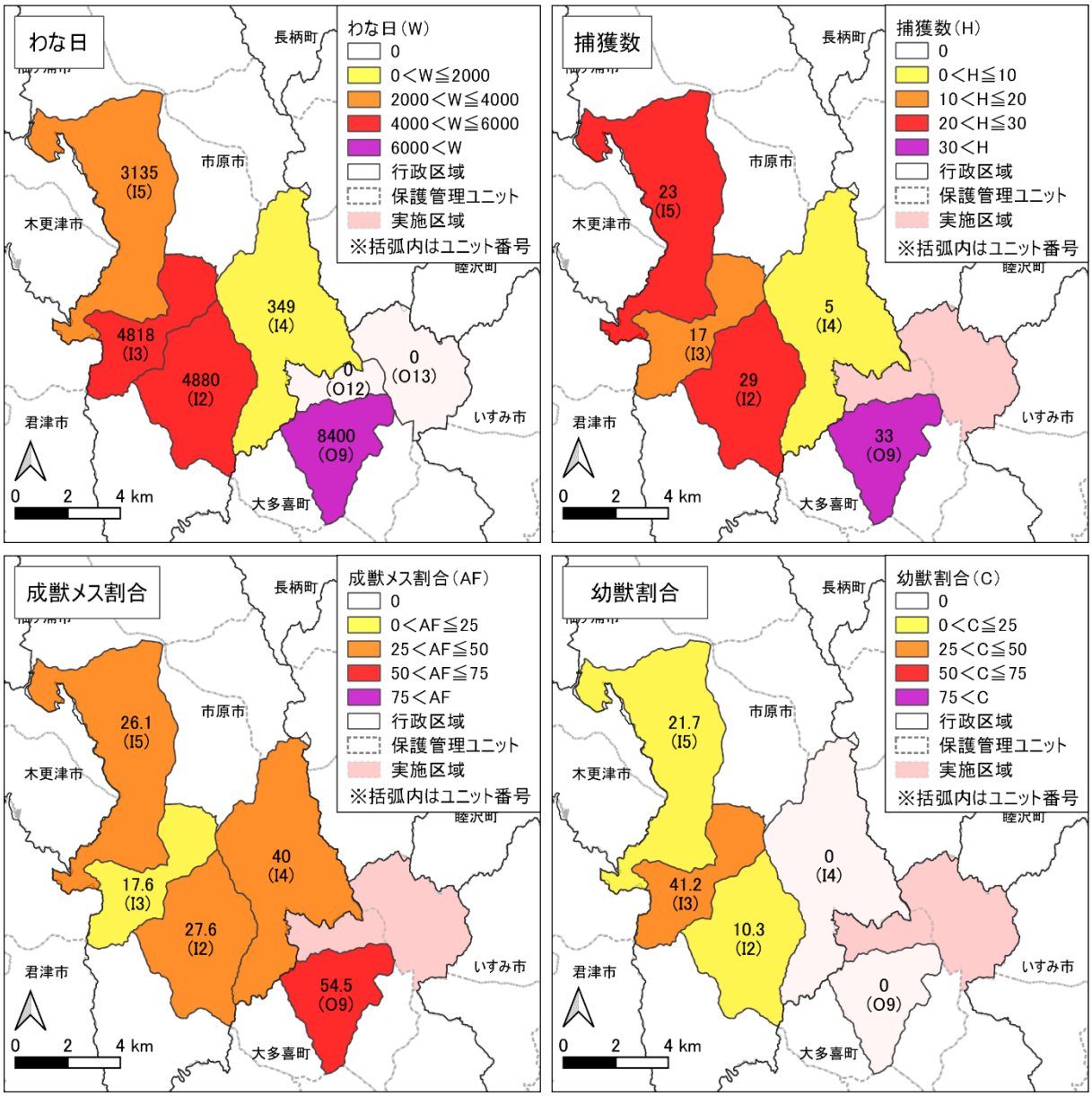

図 2　ユニットごとの捕獲結果

（上段：わな日と捕獲数、下段：成獣メス割合と幼獣割合）

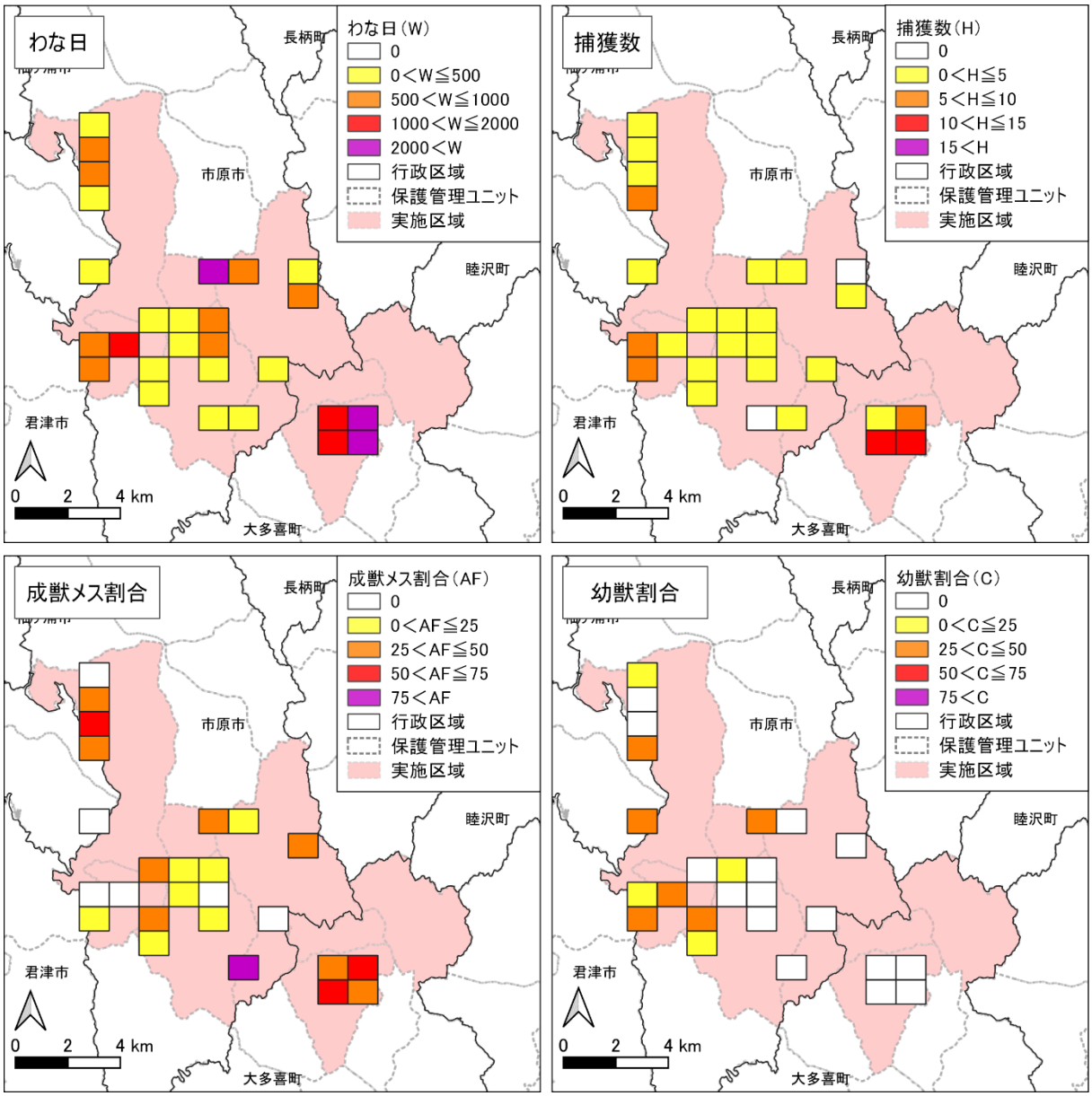

図 3　1km メッシュごとの捕獲結果

（上段：わな日と捕獲数、下段：成獣メス割合と幼獣割合）